

経営比較分析表（平成28年度決算）

宮城県美里町 美里町立南郷病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
24,975	2,899	第2種該当	15:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
47	-	47

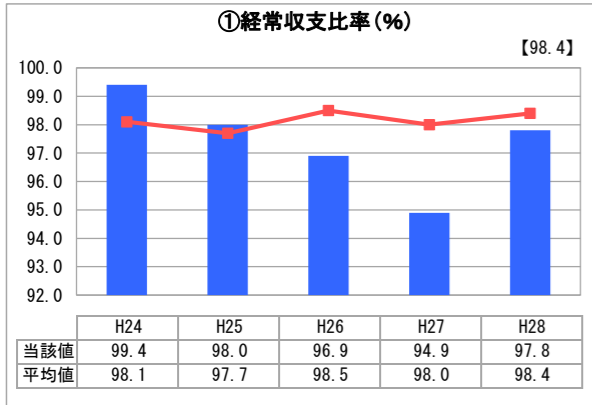
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

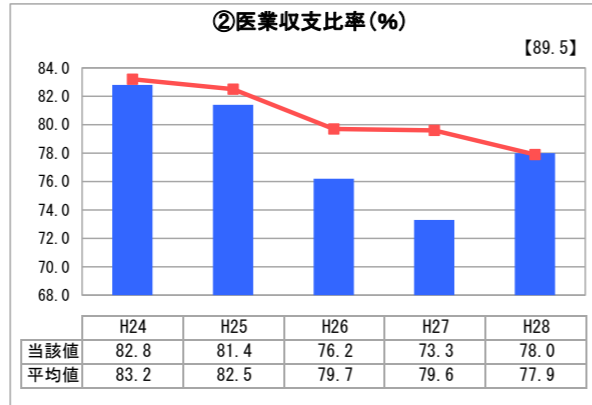
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

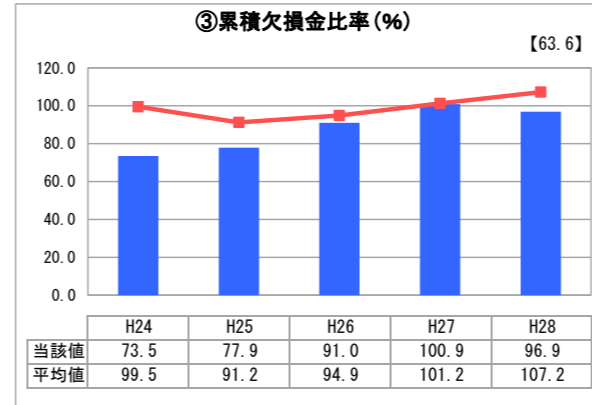
1. 経営の健全性・効率性



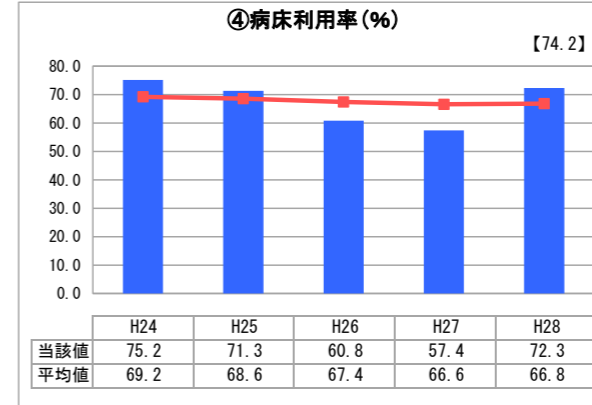
「経常損益」



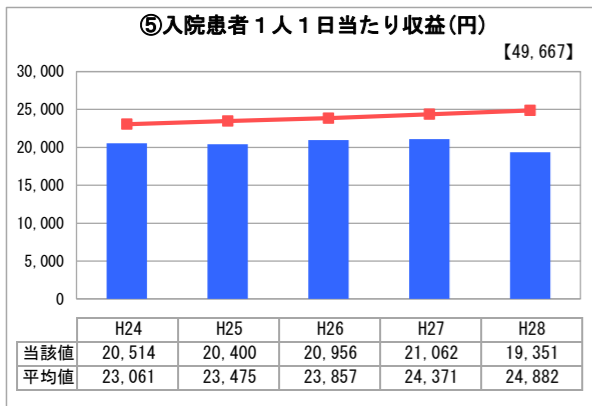
「医業損益」



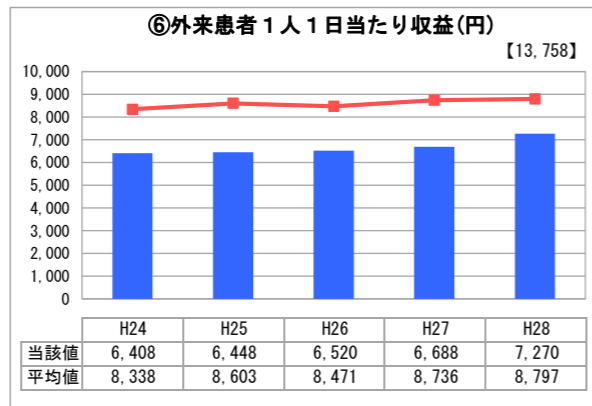
「累積欠損」



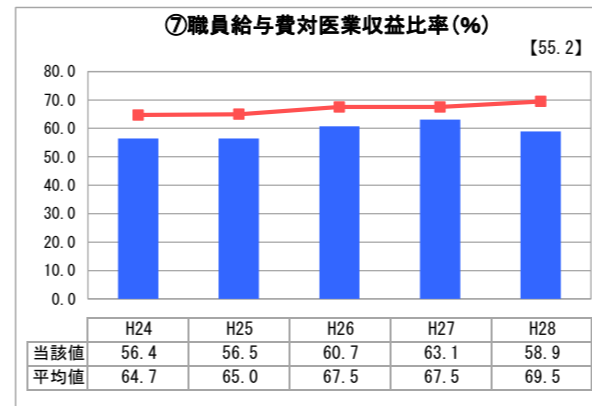
「施設の効率性」



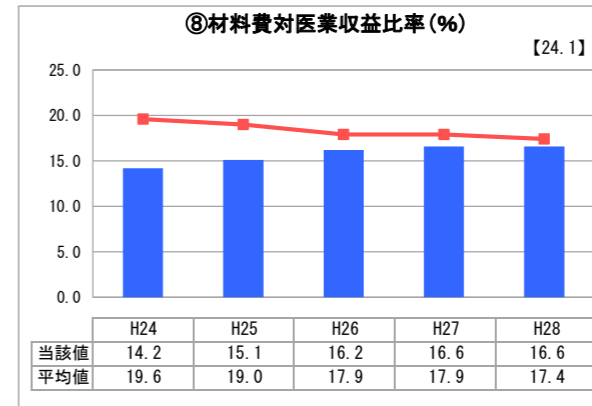
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

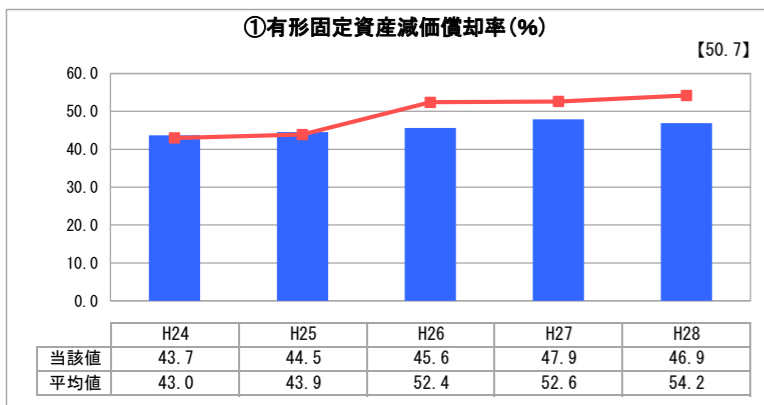


「費用の効率性①」

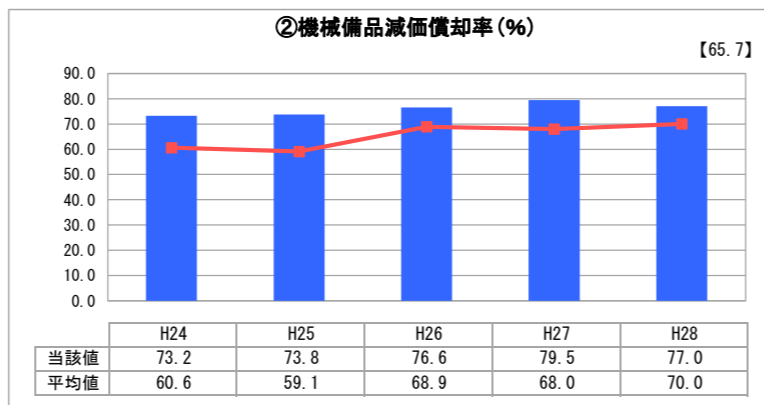


「費用の効率性②」

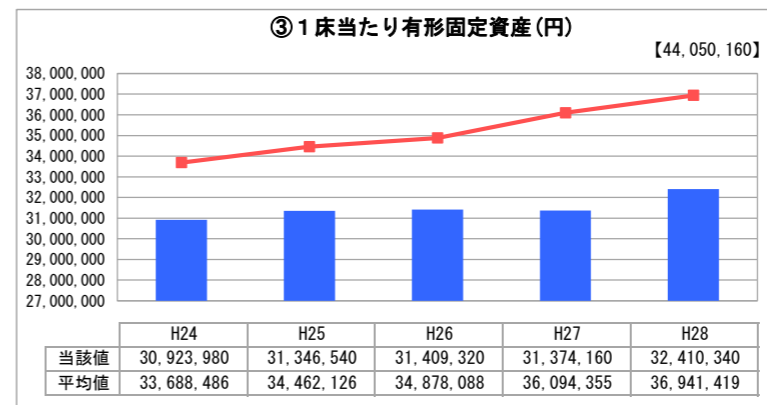
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、旧小牛田町と旧南郷町の合併により、平成18年から美里町立南郷病院と名称を改め、南郷地域（旧南郷町）唯一の医療機関（歯科診療所を除く）として、救急告示病院の役割も担っている。
不採算地区病院の要件第2種を満たす状況にありますが、慢性疾患を抱える高齢者の定期受診や町民を対象とした人間ドック、二次救急までの対応など、地域で必要とされる医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収支比率が低く、一般会計からの繰入金が必要不可欠となっている状況が続いており、収益的収支における一般会計からの繰入金は、平成24年度から平成28年度までの各年度で1億8千万円となっている。
平成28年度の医業収支比率は前年度より上昇したが、美里町病院事業新改革プランに基づき、一般会計からの繰入金を弾力的に増額することが必要となっている。

2. 老朽化の状況について

機械備品減価償却率は、類似病院平均値を超えており、類似病院と比較し、更新が進んでいない状況となっている。
経常収支比率は100%を下回っており、機械備品を含めた施設の老朽化に対して、経常収益では更新費用を賄えない状況であるため、一般会計からの繰入金は、美里町病院事業新改革プランに基づき、弾力的な増額が必要となっている。

全体総括

平成28年度の外来患者1人1日当たり収益は、前年度より増加したが、年延外来患者数は平成24年度から平成28年度まで毎年減少している。
平成28年度の入院患者1人1日当たり収益は、前年度より減少したが、年延入院患者数は前年度より増加しており、平成28年度の病床利用率と医業収支比率は上昇した。
医業収支比率がさらに上昇することは望ましいが、経常収支比率の上昇も経営の健全化には必要と考えられる。
不採算地区病院の要件第2種を満たす状況にあって、収入で支出が賄えない不足する金額に対しては、一般会計からの繰入金が欠かせない状況であることから、美里町病院事業新改革プランに基づき、弾力的な増額が必要となっている。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。